

平成25年度予算額：2,032百万円
(平成24年度予算額：1,300百万円)

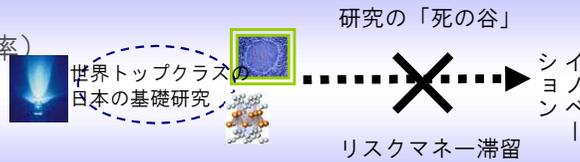
大学発新産業創出拠点プロジェクト (START)

民間の事業化ノウハウを活用した大学の次世代技術の研究開発による新産業・新規市場の開拓と日本経済の復興・再生

発明(特許)の段階から、大学の革新的技術の研究開発支援と、チームによる事業育成を一体的に実施し、新産業・新規市場のための大学発日本型イノベーションモデルを構築(経験・知見の蓄積、人材育成等による持続的なイノベーションモデルを構築)

現状認識・課題

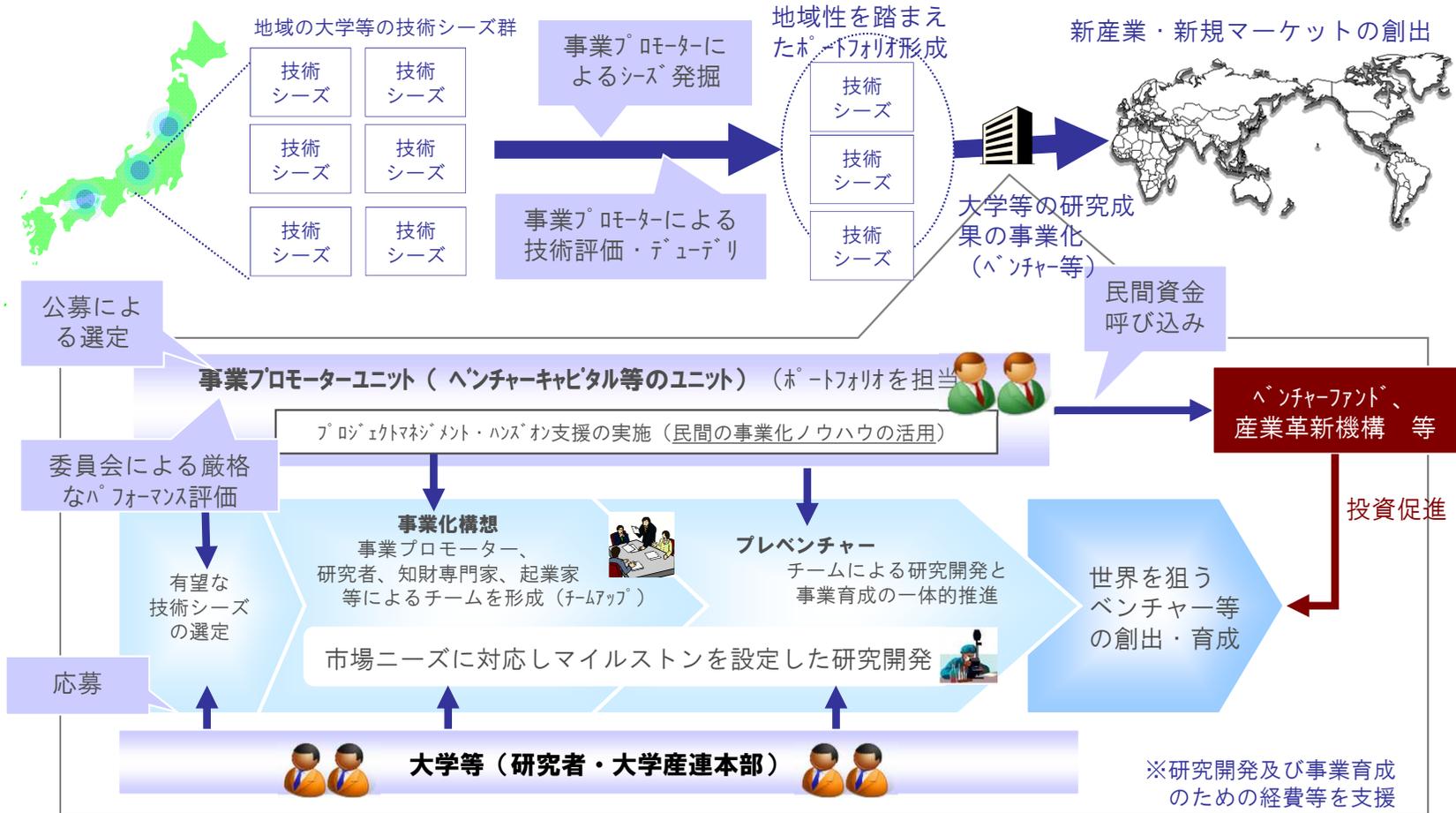
- ・産業構造の代謝停滞(企業の廃業率>開業率)
- ・大学等の優れた基礎研究成果の死蔵
- ・リスクを取らない文化と起業精神の停滞



死蔵している地方のシーズの事業化や国際展開を積極的に進めるため、
 ①組織や関係機関のネットワーク等を活用、②市場ニーズを踏まえたシーズを発掘・育成、③将来的に自らも積極的に民間資金投資等を行う、事業プロモーターの選定による多様なシーズの事業化を実現
 【約1.5~1.8億円×11ホートフォリオ(技術シーズ群)(新規4ホートフォリオを含む)】

7つの新概念導入

- プロジェクトマネジメントを行う人材(事業プロモーター)を「公募」し、パフォーマンスを評価
- 事業プロモーターによる有望シーズの「発掘システム」を導入
- リスクの高いシーズに挑戦するための「ポートフォリオ」の導入
- ベンチャー立ち上げ前段階で「事業化専門チーム」を結成
- 国際市場を狙う次世代技術(特許)に特化した研究開発の実施
- 「民間の事業化ノウハウ(ハズメ支援)」を大学等の研究段階に導入
- 事業プロモーターを通じて民間資金を呼び込む新日本版システム



※成功事例の創出による経験・知見の蓄積、人材育成、人材資源等の再活用(サステナビリティ)

※1 技術シーズ : 要素技術
 ※2 ポートフォリオ : 技術シーズ群

※研究開発及び事業育成のための経費等を支援